

第6学年 社会科学習指導案

日時 平成23年10月28日(金)5校時
児童 6年1組 男12名 女16名 計28名
指導者 阿部拓也(北松園小学校)

「平和で豊かな暮らしを目指して」の指導内容

- ・戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

〔(1)ケ〕

<この単元で身に付けたい力>

- ・具体的な歴史的事象を調べ、戦後復興の様子をとらえる力
- ・民主国家として歩み始めた日本の経緯を具体的につかみ、国際社会の中で重要な役割を果たすようになってきたことと国民の願いについて関連づけて考える力
- ・写真や地図、統計などの資料を、学習の目的に応じた的確に活用する力

- 1 大単元名 戦争から平和へ
中単元名 平和で豊かな暮らしを目ざして
教材名 「産業の発展と国民生活の変化」

2 単元について

(1) 教材について

本単元「平和で豊かな暮らしを目ざして」は、大単元「戦争から平和へ」を構成する二つの中単元「戦争と人々の暮らし」「平和で豊かな暮らしを目ざして」の一つに位置づけられている。また、この単元の学習は、中学校社会科学習指導要領の〔歴史的分野(6)ア〕「冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる」内容へとつながっている。

この単元では、前単元「戦争と人々の暮らし」の学習を受けて、戦後復興の過程で「日本国憲法の制定」「オリンピックの開催」などについて具体的に調べることを通して、「日本が民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること」をねらいとしている。

本教材「産業の発展と国民生活の変化」は、戦後復興において、産業や経済の急速な発展の様子について調べる活動を通して、社会や暮らしがどのように変化したのかをとらえる内容となっている。このように、社会の情勢の変化と国民の暮らしの変化を関連づけて考えていくことにより、国民の願いについての理解を深めていくことができる教材であると考えられる。

(2) 児童について

子どもたちは、これまでに「日清戦争～太平洋戦争」の学習を通して、戦争の経緯や様子、その背景にある国際情勢の変化、国内の産業や社会の様子について学習してきた。

これらの学習を通して子どもたちは、世界の中での日本の地位拡大のための国家政策や産業の発展については肯定的にとらえる反面、戦争の悲惨さについては重くとらえ、戦争という歴史的事象のもたらした影響について深く考えるようになってきている。

また、日常的には、単位時間ごとの学習のまとめとして、学習課題に対するまとめと自分の考えや感想を書きまとめる活動を継続して行ってきた。そのことにより、歴史的事象をただの昔の出来事としてとらえるのではなく、今の自分の生活と関連づけて考える姿も見られてきている。

しかし、歴史資料の読み取りには個人差があり、多くの資料の中から情報を適切に選択したり、資料と資料を関連づけて考えたりするまでには至っていない。

(3) 指導にあたって

本単元は、前単元「戦争と人々の暮らし」の学習を受けて、「日本国憲法の制定やオリンピッ

クの開催，高度経済成長などを通して，戦後の日本が平和で民主的な国を築き，国際社会で重要な役割を果たすようになり，国民生活も向上したことを理解する」ことをねらいとしている。この学習は，中学校社会科学学習指導要領の〔歴史的分野(6)ア〕の内容へとつながっていくこともあり，中学校との系統性を踏まえた上で，戦後の復興において「国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したこと」「日本国憲法の制定など新たな制度が生まれたこと」については，重点的に扱うようにする。

本単元の指導にあたっては，小・中一貫した学習の進め方である「課題把握」「調べ学習」「交流活動」「学習まとめ」という指導過程を大切にして学習を展開していくこととする。その際に，「調べ学習」では，「どのような方法で調べるのか」，「何について調べるのか」ということを明らかにして情報収集することができるようにし，課題解決に向けて「視点」を提示して情報を分析する力を育てたい。そして，「交流活動」では，グループや全体で一人一人の考えを交流する活動を通して，多様な考えを比較検討することにより，歴史的事象に対する自分の考えを深めたり，広げたりすることができるようにしたい。また，「学習のまとめ」では，歴史的事象の一般化とそれに対する自分の考えをまとめ，それを発表する活動を通して，多面的・多角的な見方や考え方を育てることにつなげていきたい。

3 単元の目標

- (1) 戦後の復興の過程や諸外国との関係，人々の願いについて関心をもち，積極的に調べようとする。
【関心・意欲・態度】
- (2) 戦後の平和で民主的な国づくりと国民生活の変化について学習問題を見いだして調べ，戦前の様子と比較したり，変化の背景を考えながら，適切に表現することができる。
【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 戦後の復興の様子について，当時の写真や絵図，地図，表，読み物資料などの基礎的資料を目的に合わせて収集・選択し，的確に読み取ることができる。
【観察・資料活用の技能】
- (4) 戦後の日本が平和で民主的な国を築き，国際社会で重要な役割を果たすようになり，国民生活も向上したことについて理解することができる。
【知識・理解】

4 学習指導計画及び評価規準(5時間)

| | 学習内容と 主な学習活動 | 評 価 規 準 <評価方法> | | | | 単 位 時 間 に お け る 言 語 活 動 を 通 し て 考 え る 力 を 育 て る 活 動 |
|----------------|---|-------------------------|--|----------------|-------------------------|---|
| | | 社会的事象 への関心・ 意欲・態度 | 社会的な思考・ 判断・表現 | 観察・資料 活用の技能 | 社会的事象 についての 知識・理解 | |
| 第一次 1時間 | 戦後に目ざされた国づくりについての学習計画を立てること ・戦争が終わったころの暮らしの様子を話し合う。 ・当時の写真や戦争を体験した人の話を参考にして，戦争が終わったころの人々の暮らしについて調べる。 ・疑問を出し合い，学習課題を設定する。 1時 | | ・戦後間もないころの生活と，現在の社会の様子を比べ，人々の暮らしや社会の変化について，自分なりの学習課題を設定している。 発言・ノート | | | ・戦後間もないころの生活と，現在の社会の様子を比べ，人々の暮らしや社会の変化について，自分なりの疑問を交流する活動 |

| | | | | | | |
|------------|---|--|--|---|--|--|
| 第二次 4時間 | <p>戦後に目ざされた国づくりの考え方について調べること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が平和で民主的な社会へと変わっていったことをつかむ。 ・日本がどのようにして民主的な社会を築いたのかを調べる。 ・日本の社会がどのように変わっていったのかについてまとめる。 <p>1時</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> ・戦後に行われたさまざまな改革について資料を活用して内容や意図を読み取っている。 <p>ノート</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の三大原則や学校教育制度・その他のさまざまな改革などから、民主的な社会のしくみが作られたことを理解している。 <p>発言・ノート</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の三大原則や学校教育制度・その他のさまざまな改革などの意図を関連づけて考える活動 |
| | <p>日本の独立の回復とオリンピックの開催について調べること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が独立を回復した経緯をつかむ。 ・東京オリンピックが開催されるまでに国際的な地位が向上した経緯を調べる。 ・東京オリンピックが開かれた当時の人々の気持ちを考える。 <p>2時</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> ・日本が独立を回復し、アメリカとの結びつきを強めながら、急速に産業を発展させ、東京オリンピックを開催させるまでの経緯について、必要な情報を読み取っている。 <p>発言・ノート</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックが開かれた当時の人々の気持ちを考える活動 |
| | <p>産業の発展と国民生活の変化について調べること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業や経済が急速に発展した様子についてつかむ。 ・人々の暮らしがどのように変わっていったのかについて調べる。 ・産業が発展していく中で、公害という問題が起こったことをつかむ。 <p>(本時) 3時</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしも豊かになる一方で、新たな社会問題が起こったことについて自分なりの考えをもっている。 <p>発言・ノート</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上したことや、それによって起こった諸問題について理解している。 <p>発言・ノート</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしが豊かになる一方で、公害などの社会問題が起こったことについて、自分なりの考えをもって交流する活動 |
| | <p>日本とアジアの国々との関係について調べること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とアジアの国々との結びつきについてつかむ。 ・日本と近隣の国々との関係や残された課題について調べる。 ・アジアの中の日本のあり方を考える。 <p>4時</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・アジアの中の日本のあり方について、調べたことをもとに考えようとしている。 <p>発言・態度</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・日本とまわりの国々との問題についての情報を集め、読み取っている。 <p>発言・ノート</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・アジアの中の日本のあり方について自分の考えを交流する活動 |

5 本時の指導

(1) ねらい

- ・産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしも豊かになる一方で、新たな社会問題が起こったことについて自分なりの考えをもつことができる。 【思考・判断・表現】
- ・産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしも豊かになっていったことを理解することができる。 【知識・理解】

(2) 具体の評価規準

| | 観点別評価目標 | B (概ね満足できる) | C (支援の手立て) |
|-----|---|--|---|
| 評価1 | 産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上したことや、それによって起こった諸問題について理解することができる 【知識・理解】 | 国民の懸命な働きにより産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上したことや、それによって起こった諸問題について理解している。 | 板書の「産業・経済」「国民生活」「問題」という視点に着目させながら、考えることができるようにする。 |
| 評価2 | 産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上した一方で、公害や環境破壊などの問題が起こったことについて、自然や環境を守ることの大切さに対する考えをもつことができる。 【思考・判断・表現】 | 産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上した一方で、公害や環境破壊などの問題が起こったことについて、自然や環境を守ることの大切さに対する考えをもっている。 | 「豊かな暮らし」「社会問題」との関係について、「自然」「環境」に着目させながら、考えることができるようにする。 |

(3) 「考える力」を育成するための手立

【考える力の育成にかかわる身に付けさせたい力】

- ・自分の考えを根拠を明らかにして説明する力

【考える力を育成するための言語活動】

- ・暮らしが豊かになる一方で、公害などの社会問題が起こったことについて、自分なりの考えをもって交流する活動

(4) 展開

| 段階 | 学習内容と学習活動 (発問 指示) | 時間 | 指導上の留意点 (・留意事項 評価) |
|----|--|----|---|
| 導入 | 1 「東京オリンピック」が開かれたころの国内の様子を振り返る。 「東京オリンピックが開かれたころ、国内ではどのようなことがあったのだろう。 | 3 | ・「日本の独立と東京オリンピック」の学習を振り返り、本時では産業や経済が急速に発展したころの人々の暮らしの変化について学習するということへの方向付けを図る。 |
| | 2 本時の学習課題をつかむ。 産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしはどのように変化したのだろう。 | 2 | ・戦後間もないころから東京オリンピック開催までの産業や経済の発展を確かめ、それにより国民生活がどう変わっていったのかという疑問を取り上げ、学習課題へとつなげていくようにする。 |
| 展開 | 3 学習課題を解決する。 (1)人々の暮らしがどのように変化したのか予想する。 | 3 | ・これまでの学習をもとに、自由な発想でノートに記述するよう指示する。 |

| | | | |
|---|---|----|---|
| 展 開 | 産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしはどのように変化したのか予想をノートに書きましょう。 | 8 | ・「電気製品の普及」「衣食住」「その他」の3つの視点の中から、自分の選んだ視点に沿って調べ、箇条書きでノートに整理するように指示する。 |
| | (2)人々の暮らしがどのように変化したのか調べる 産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしはどのように変化したのかを視点に沿って調べましょう。 | 10 | ・「電気製品の普及」「衣食住」「その他」の3つの視点に沿って調べたことを発表し合い、人々の生活が豊かになっていったことに気付くことができるようにする。 |
| | (3)人々の暮らしがどのように変化したのか考える。 人々の暮らしはどのように変化したのでしょうか。調べたことを発表しましょう。 | 3 | ・人々の「暮らしを豊かにしたい」という思いと産業や経済の発展の関係について、相乗効果的に発展していったことに気付くことができるようにする。 |
| | (4)産業の発展に伴って起きた社会問題について知る。 産業の発展に伴い、どのような問題が起きたのか、資料を読みましょう。 | | ・読み物資料から、工業の発展に伴い公害や環境破壊といった問題が深刻化したことについて気付くとともに、自然や環境との関わりについて考えたことを発表させる中で多様な考え方があることに気付くことができるようにする。 |
| | (5)学習課題のまとめをする。 今日の学習で学んだことをもとに、学習課題に対するまとめと自分の考えを書きまとめましょう。 | 5 | ・2段落構成で、1段落目には学習課題に対するまとめ、2段落目には、「豊かな暮らし」「社会問題」についての自分の考えを書くようにする。 |
| <p>産業や経済が発展し、人々の生活は家電製品の普及や衣食住の変化など便利で豊かな生活へと変化した。しかし、その一方で公害問題が深刻化した。</p> <p>ぼくは、豊かな暮らしを目指しながらも、自然や環境とのバランスも考えることが大切だと思う。 等・・・</p> | | | |
| | (6)書きまとめたことを交流し合う。 書きまとめたことをグループで交流しましょう。 | 6 | ・書きまとめたものをグループで交流することを通して、友達の考えのよさに気付くことができるようにする。 ・友だちの考えと自分の考えを比較しながら聞き、感想を言う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができるようにする。 |
| 終 末 | 4 学習のまとめをする。 (1)自己評価をする。 | 1 | ・本時の学習内容や学習方法、学習の成果を振り返り、学習への達成感をもつことができるようにする。 評価1 産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上したことや、それによって起こった諸問題についてつかむことができたか。 〔社会的事象についての知識・理解：文章記述〕 評価2 産業や経済が発展し、人々の暮らしが向上した一方で、公害や環境破壊などの問題が起こったことについて、自然や環境を守ることの大切さに対する自分なりの考え書きまとめることができたか。 〔社会的な思考・判断・表現：文章記述〕 |

6 板書計画

| 産業の発展と国民生活の変化 | | 学習課題 |
|--|--|---|
| <p>【提示資料：写真】 東京の町並み 終戦のころ</p> | <p>【提示資料：写真】 東京の町並み 東京オリンピックの ころ</p> | <p>産業や経済が発展するにつれて、人々の暮らしはどのように変化したのだろう。</p> <p>【予想】</p> <ul style="list-style-type: none">・豊かになった・便利で快適になった・ぜいたくになった <p>【人々の暮らし】</p> <p>電気製品の普及</p> <ul style="list-style-type: none">・電気洗濯機・電気冷蔵庫・カラーテレビ <p>衣食住 … 欧米風</p> <p>その他 …</p> |
| <p>〔東京オリンピックのころ〕 国内の様子</p> <ul style="list-style-type: none">・新幹線の開通・高速道路の整備・急速な産業の発展・外国との貿易が盛んに・世界第2位の工業国・世界一の東京タワー・高層ビルの建設 | | <p>「暮らしを豊かに」</p> <p>↓</p> <p>人々の働き…経済発展</p> <p>↑</p> <p>【社会問題】 四大公害病</p> <ul style="list-style-type: none">・水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく・新潟水俣病 <p>まとめ</p> |